

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲示し、「町と共に歩む」グループホームを目指している。運営理念については本年度も変更せず町の方々と共に地域福祉の実践に励みたい。	理念を玄関に掲示している。毎年度、事業計画を作成する際に見直ししている。ホームと地域の関係性を大切にしていきたいということを職員と話し合い、開所時の理念を継続し実践に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町の行事に限らず周辺住民と施設行事での交流、散歩等での会話など生活上での交流が継続できるよう自ら屋外活動を行うようにしている。	地域行事には積極的に参加し交流を図っている。散歩中、挨拶を交わしたり、近所の方から野菜をいただいたり、畑作業時アドバイスもらう等、良好な関係である。ホームに気軽に足を運んでもらえるような関係を構築したいと考えている。	ホームや認知症についてなど盛り込んだ広報誌を定期的に発行して、ホームを理解してもらうことやホームを開放し、地域の方が気軽に来れるような雰囲気づくりや行事を企画することを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご利用様が普通の暮らしをしていることを身近に感じて頂くことも地域貢献であると認識している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を通して、運営状況の振り返りを行う機会にもなっている。出席者からのお話を伺いながら運営に取り入れていきたい。	定期的開催しており、ヒヤリハットや事故報告・現状報告している。意見や感想もらったり、情報交換を行ない、サービス向上に活かしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的な地域ケア会議に参加させて頂き、町の担当者との意見交換を行っている。	町主催の地域ケア会議に参加しており、情報交換している。事故があれば、事故報告を行ったり何かあれば相談する等、関係構築している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間を除き玄関等の施錠は行っておらず、職員らも行動制限や身体拘束等に関して理解した上で業務に当たっている。現状において身体拘束等は行っていない。	事例ごとに検討しており、外に出たい方がいれば、話をじっくり聞いてあげたり一緒に出かける等、言葉の抑制・行動制限することなく取り組んでいる。法人内研修を取り入れ学ぶ機会を設けており、全職員が理解している。	
7	(5-2)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	研修や事例検討会等を通じ高齢者虐待に関して理解を深める機会を設けている。職員らの住む地域においても虐待が見過ごされることがないよう協力することの重要性についても理解できている。	研修や会議時に学ぶ機会を設けている。高齢者の多い集落であることから、集落の方からの相談もある。全職員が利用者だけではなく、集落にも目を向け、包括と連携を図り、虐待防止に取り組んでいる。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護については内部研修を設け定期的に学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	平成22年度以降、新たな契約は締結していないが、契約締結する場合には十分な説明を行っていききたい。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情相談窓口に関して玄関等に掲示し家族等が意見を表しやすいよう工夫した。意見箱については玄関入口に設けている。ご利用者の意見が表しやすいよう運営推進会議にも出席をお願いしている。	玄関に意見箱を設置したり、運営推進会議時に状況報告等を行っている。気軽に話せる雰囲気作りに努めており、面会時に積極的に意見を聞いたり、些細なことでも情報共有している。もらった要望・意見は会議で検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議において、職員からの意見を取り入れ課題検討を行っている。日常的にも管理者へ意見や要望が話せるように関係性の構築にも努めており、ホーム運営に反映できている。	管理者・主任は現場の声を吸い上げ会議で話し合っている。早く対処すべき事案については、早急に話し合い、取り組んでいる。利用者の対応について意見があり、検討し業務を見直した例がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課を取り入れており個々の目標設定と達成確認等を通じて向上心を持って働くことのできる環境整備を行っている。代表者は人事考課表のみならず各管理者の意見や要望を取り入れることのできるよう会議を設置している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内部研修の他、事業所内部において勉強会も行い、ご利用者様の支援に直結する課題に即対応することでトレーニングにもなっている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会などを通じて、別事業所等と交流しながら自らのサービスの振り返りが行なえる場面を設けている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	現期間において新規利用者の入居はなかったが、不安のないように家族とのつながりの継続に向けて働きかけを行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初期段階に限らず、グループホームに入居することでの不安や要望はできる限りお聞きできるようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居申し込みの際し、ご家族等への利用説明において状況等を確認しながら必要に応じてサービス説明を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者は人生の先輩であるという認識を職員は共有しており、習わしや、郷土料理等を通じて職員は高齢者の知識や経験を学ばしていただいている。利用者同士の支え合いを阻害しないよう皆で暮らすことの重要性を認識している。		
19	(7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	生活状況の報告やご自宅での生活状況の情報提供を依頼するなど関わりを絶たないよう配慮している。必要に応じて家族と外出する機会があるように働きかけを行っている。	夏祭り等、家族に参加してもらう機会を設けたり、家族の気持ちを理解して、時間をかけながら信頼関係を築き、本人・家族との関係をつなげていけるよう取り組んでいる。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者様の大切な方々も高齢化し徐々に関係を継続することが難しくなってきた。近況を報告する。自ら町へでるようになるなど途切れない関係を築けるよう努めている。	知人が遊びに来てくれたり、自宅周辺のドライブに出かける等、利用者の意向に沿って支援している。家族の協力で仏壇参りや墓参り等している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の配慮や孤立しないように皆さんと作業をすすめるなど、個々の関係により様々な働きかけや配慮を行っている。ご利用者同士が助け合い、支え合いながら日々生活されている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても関係を断ち切らずお会いする機会を設けるなど継続的な付き合いを大切にしている。		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人に随時インタビューして希望、意向の把握に努めている。ケアプラン作成時に本人の希望、意向を把握してケアプランに反映している。	入所時家族から聞き記録しているが、本人の日常会話や職員と行動している際に、思いが聞ける事がある。そんな時は申し送りノートに記入し、職員全員で情報共有している。	
24	(9-2)	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を使用したアセスメントを行い、一人ひとりの生活歴やなじみの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族、知人などからライフスタイル、趣味など聞くことにより、本人の有する力を活かし、自分らしく過せる様支援している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	センター方式を使用してのアセスメントで一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する能力等の現状を把握し、ケアプランに反映させている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア検討会において課題検討やケアの方向性を話し合い、日々の関わりの中での意見や意向を介護計画に反映させている。	ケアプランは2, 3ヶ月に1回状態変化時は其の都度、家族の意見・介護担当者の意見など重要と心得、カンファレンス・モニタリングを繰り返し、アセスメントしながら反映させている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践と結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実線や介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状況、その時々要望に応じて、併設短期入所生活介護施設、併設通所介護施設、地域の温泉保養センターに出かけている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等に協力を求めたり、相談を行っている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら適切な医療を受けられるようにしている。	本人、家族希望のかかりつけ医としている。受診介助は家族が、出来ないときは職員が代行する。フェースシートや日常の介護記録で医師・家族・ホームと情報の共有は出来ている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	併設施設の看護職員に体調の変化があるときに、情報提供し、相談しながら医療支援を進めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご利用者が入院したときにできるだけ早期に退院できるように、メディカルソーシャルワーカー等との情報交換や相談に努めている。入院退院のために病院と連携している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居される前に意思確認を行なっているが、入院等の体調の変化があった場合にも随時確認しながら支援している。グループホームで行なえることについても同様に説明しながら支援している。	ホームの力量を考え、対応しうる最大の支援方法を早い段階で、家族、本人に説明している。随時家族のニーズを汲み取りながら、可能な限り対応し取り組んでいる。	
34	(12-2)	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に緊急時の対応について研修を開催し、避難訓練等の防災訓練を行っている。	ホームで急変や事故発生時を想定しての研修を行っている。その為職員は、救急車が来るまでの初期対応がいかに大切か得とくしており、不安解消に対して勉強会を繰り返し行っている。	
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	日中想定、夜間想定、併設施設との共同避難訓練等、安全に避難できるように訓練を定期的に行なっている。	昨年地域住民が水害に遭い、ホームが避難場所となりその経験からマニュアルを見直した。職員が防災管理の資格を取り、昼夜想定の避難訓練をしたが、消防署との合同訓練はこれからである。	消防署からはしご車を入れての訓練をしたいとの依頼があり、受け入れの為計画を立て、実施した上での気付きを貰い、活かしていけるような訓練が行なえるよう期待したい。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	さりげない言葉掛けや高齢者への敬意を忘れないように、留意している。カンファレンスなどを通して確認しあえるようにしている。	年長者として敬意を払い、話す言葉を否定せず、じっくり聴くようにしている。気心の知れた中でも、言葉が逸脱しぞんざいにならない様、職員同士注意し合い人権意識を徹底している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望を表せるように働きかけたり、理解できるよう本人に合わせた説明をし、自己決定をして、納得しながら暮らせるよう本人の意思を確認しながら介護している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、どのように過ごしたいか、本人の希望に沿って、本人の意思を確認しながら支援している。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意向に沿って望む理容・美容店に行っている。衣類についてはご自分でクローゼットから選んでいただけるようお願いしている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に応じて役割ができており、調理される方、配膳をされる方、茶碗を洗う方と様々である。調理を行う際に相談しながら作業をすすめるなどできることをして頂き自信の維持にもなっている。	食事に関する一連作業は「昔取った杵柄」で希望者も多い。職員と相談しながら順番に進める事により、心身の力の維持向上になっている。毎月行っている手作りおやつは楽しみなものとなっている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設施設の栄養士に相談しながら入居者の状態に応じた食事量、水分量の提供と、習慣とのバランスを検討しながら食事の支援を行っている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は皆さんが声を掛け合い、居室でのケアを行う方、トイレ脇の洗面台でケアする方など個々の進め方に合わせて習慣的に行っている。ブラッシングがきちんと行えない方は介助をする場合がある。			

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	おおよその排泄パターンを把握し、できるだけ自分の力で排せつできるようにお声を掛けたり、定時誘導とするなど個別に支援している。	チェック表だけでなく、利用者の表情や動作から察知し、早めにさり気なく誘導している。尿漏れしやすい利用者を、職員同士のカンファレンスでパットやオムツの設置場所について話し合い改善した。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の予防のために食物繊維の多い食材や乳製品の摂取、体操等に取り組んでおり、排泄リズムはおおよそ整っておられる。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	その日の希望に応じて随時変更したり、提供するなどお風呂を楽しみにしていただけている。	利用者が何時でも入れるよう準備している。好きな時ゆっくり入れるようさり気なく見守りし、又利用者・職員1対1となる事により本音の会話も弾み、大切な情報収集の場にもなっている。拒否のときは職員が変わって対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に応じて、安心して休息できるように環境整備をした上で介助している。行事等でお疲れになっている時には休息を勧め無理なく生活していただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用について職員間で情報を共有して服薬支援に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かして、レクリエーションや外出、散歩、外食の支援をしている。お掃除を担当されたり、洗濯物たたみを担当されるなど力に応じて役割分担ができています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物はご利用者様の希望に沿って共に出かけるように配慮している。ご自宅の様子を心配している場合などにはご家族様の協力を得て外出して下さることもある。	年間の行事計画は出来ているが、利用者は買い物や帰宅欲求が多いため家族の協力も得て買い物、理・美容院等出かけている。定期的に兄弟の家に出かける利用者もおり支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持、使えるように支援している。預かり金を管理したり、本人がお金を所持したりと本人、家族の意向に沿って援助ができています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用者本人が自ら電話したいと希望される場合には、能力に応じて電話を掛ける支援を行うなど必要な支援を行えている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁面には季節に応じて装飾し、装飾品もご利用者と共に製作するようにしている。ご利用者が手入れしている鉢植え等も飾り、日々生活するスペースとして違和感のないように配慮している。	清潔感ある明るい居間は四季の花が飾られ、マットやテーブルクロスは四季毎に取替え気分転換を図っている。壁には町内の文化祭に出品した利用者の作品が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂、リビングの他に、視覚的に個別空間となりうるよう区分した場所を配置している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各ご利用者が、家族と相談しながら居室の調度品の配置や季節毎の模様替えを行っている。必要に応じてご自宅から持参いただけており、ご本人にとって生活しやすいものとなっている。	居室には大きなクローゼットとテレビが備えてある。自宅で使い慣れた民芸調の箆笥・椅子・時計等持ち込み、家族と共に楽しく配置している。居心地良い居室作りが出来ている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室やトイレの目印は個々の能力に応じて工夫しており、混乱なく生活できている。		

V. サービスの成果に関する項目 (アウトカム項目) ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				